

震災被災地支援金を日本財団「ハタチ基金」に贈呈

～ 「コラボ・スクール」事業に生ビール15万杯分の約2600万円を支援 ～

サッポログループは、本年開催したイベント等での樽生ビールの売上金額の一部約2600万円を、教育支援基金である「ハタチ基金」の主管団体である日本財団に、東日本大震災の支援金として2011年11月17日（木）に贈呈しました。この支援金は被災地における子ども達のための夜間学校「コラボ・スクール」の活動に使って頂きます。

支援金は、9月に恵比寿ガーデンプレイスで開催された「恵比寿麦酒祭」や、8月4日「ピヤホールの日」に全国のサッポロライオンチェーンで開催されたイベントなどで、お客様がお飲みになった樽生ビールの売上の全額、または一部を充てさせて頂いたものです。

支援対象の「コラボ・スクール」とは、被災地の小・中学生、高校生を対象とした“夜間学校”で、避難所や仮設住宅などで学習環境の悪化している子どもたちに、安心して学ぶ場を提供するために設立されました。第一例目として本年7月に宮城県女川町で開校した「女川向学館」には、212名の児童・生徒が通学。同様に学習環境の悪化が深刻な、他の被災エリアへの展開も準備中です。

サッポログループでは、CSR基本方針の『わたしたちは、いつもお客様に喜んでいただける企業活動を通じて、社会に信頼されるグループであり続けます』に基づき、次世代を担う子ども達の成長につながることを願っています。

記

1. 支援金贈呈内容

- (1) 支援金額 26,640,100 円
- (2) 贈呈先 日本財団「ハタチ基金」
- (3) 支援対象 「コラボ・スクール」事業
- (4) 贈呈式 2011年11月17日（木） 日本財団ビル（東京都港区）にて開催

2. サッポログループの支援イベントについて

(1) 恵比寿麦酒祭（エビスビールまつり）

開催日：2011年9月16日（金）～19日（月・祝）

場所： 恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区、目黒区）

支援： メイン会場（センター広場、時計広場）での樽生ビールの売上金の全額を支援に充てる。
それ以外にも、被災地支援として、メイン会場で東北を中心とした食材を使用したメニューを提供するなどの取り組みを行った。

(2) 「8月4日ピヤホールの日」イベント

～全国のライオンチェーンから元気を送る！～

開催日：2011年8月4日（木） ピヤホールの日

場所： 全国のライオンチェーン店

支援： 1杯につき100円を支援に充てる。

その他、各地のライオン関連店舗でも支援イベントを開催した。

3. 支援先・支援事業について

(1) 支援先：ハタチ基金

a) 基金について

～ 被災地の子どもたちの成長を、継続的にサポート ～

ハタチ基金は、東日本大震災で被災した子どもの学び・自立を継続的にサポートするため、2011年4月に設立された基金。「震災時に0歳だった赤ちゃんが、無事にハタチを迎えるその日まで」をコンセプトに、公益財団法人日本財団内に設置されている。これまで、のべ1,700人を超える個人寄付および、約50の企業・団体からの寄付を受けている。

(2011年11月11日時点)

b) 活動団体について

特定非営利活動法人NPOカタリバ、一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン、特定非営利活動法人トイボックス、特定非営利活動法人フローレンスの4団体が、「ハタチ基金」を活用して被災地支援事業を行っている。

(2) 支援事業：コラボ・スクール (<http://www.collabo-school.net/>)

～ 地域みんなで創り上げる、新しい学校のスタイル ～

コラボ・スクールは、被災地の小・中学生・高校生に学習指導を行う“夜間学校”。東北地方の子どもたちが震災の経験を、「悲しみ」ではなく「強さ」に変える学習機会をつくり出すことで、日本にイノベーションを起こす人材を育てることを目指している。子どもたちに基礎学力を身に付けてもらうとともに、向上心と好奇心を日常的に育成している。

「ハタチ基金」の支援を受け、首都圏を中心に学習支援を行ってきたNPOカタリバが主体となって運営している。震災により失業した塾講師などを雇用して、教育委員会や学校など行政とも連携。地域住民もボランティアで指導に参加するなど、様々な立場に立つ人が協力しながら、地域みんなで創り上げる新しい学校のスタイルを目指している。

参考：「女川向学館」(宮城県女川町)

コラボ・スクールの第1校目として、7月に開校したのが「女川向学館」。同校のある宮城県女川町では、地震のため主要な町の6割以上が倒壊し、学習塾の9割以上が休業。このように、「勉強したくても勉強できない」という子どもたちが多くいる他の被災地でも、経済の復興に時間がかかること、また無償サービスが民業圧迫にならないこと、そして行政や地域住民の協力が得られることを条件に、このコラボ・スクールを展開することが準備されている。

<女川向学館 概要>

1. 日時：週6日・1日3コマ（平成23年7月4日開始）
2. 場所：女川第一小学校（宮城県女川町）
3. 対象：小学生～高校生
4. 講師：女川町在住の元塾講師など
5. 指導科目：英語・数学・国語など
6. 費用：無料（児童・生徒の負担はなし）
7. 主催：特定非営利活動法人NPOカタリバ
8. 協力：女川町教育委員会、女川学力向上委員会

以上